

(1) 実施機関名：

国土地理院

(2) 研究課題(または観測項目)名：

機動観測

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

イ．地震発生・火山噴火の可能性の高い地域

(4) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア．日本列島域

ウ．東海・東南海・南海地域

3. 新たな観測技術の開発

(3) 観測技術の継続的高度化

イ．地震活動や噴火活動の活発な地域における観測技術

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

全国に展開する GPS による連続地殻変動観測から火山性地殻変動を把握するとともに、火山活動が活発化した場合には、火山周辺での GPS やレーザー測量、水準測量、地磁気測量、重力測量による機動観測を実施し、高精度な地殻変動を測定し火山観測体制の強化を図る。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

平成 21 年度においては、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、伊豆大島、富士山、伊豆東部、浅間山において、GPS 火山変動観測装置 (REGMOS) による連続観測および伊豆大島において APS 観測を継続実施する。また、北海道駒ヶ岳に設置してある REGMOS を高度化された機器へ交換する。浅間山および草津白根山の地殻変動を捉えるため、草津白根山の GPS 機動観測および軽井沢から渋峠間 75 キロメートルの水準測量を実施し、併せて水準点での重力測量を実施する。

平成 22 年度以降においても、引き続き REGMOS および APS による連続観測を実施する。また、樽前山、伊豆大島、阿蘇山、霧島、桜島等の火山についても計画的に、GPS 測量、水準測量、重力測量等を実施する。

(7) 平成 23 年度成果の概要：

樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、伊豆大島、富士山、伊豆東部、浅間山、硫黄島、霧島山において、GPS 火山変動観測装置 (REGMOS) による連続観測を実施するとともに、伊豆大島において自動光波

測距・測角観測装置(APS)による観測を継続実施した。また、富士山の REGMOS を高度化されたものに交換した。

(8)平成23年度の成果に関連の深いもので、平成23年度に公表された主な成果物(論文・報告書等):
横川正憲・平岡喜文・松村泰敬・根本盛行,2011,GPS火山変動リモート観測装置(REGMOS)の改良とその効果,国土地理院時報,121,135-142

平岡喜文・横川正憲・根本盛行・村山盛行・武山峰典,2012,次世代衛星携帯電話を利用したGPS火山変動リモート観測装置(REGMOS-Hybrid)の開発,測地学会誌,57,4,173-180

(9)平成24年度実施計画の概要:

樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、伊豆大島、富士山、伊豆東部、浅間山、硫黄島及び霧島山において、GPS火山変動観測装置(REGMOS)による連続観測を実施するとともに、伊豆大島において自動光波測距・測角装置(APS)の観測を継続実施する。また、伊豆大島において水準測量及び重力測量を実施する。

(10)実施機関の参加者氏名または部署等名:

測地部機動観測課

他機関との共同研究の有無:無

(11)公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名:地理地殻活動研究センター 研究管理課

電話:029-864-5954

e-mail:eiss@gsi.go.jp

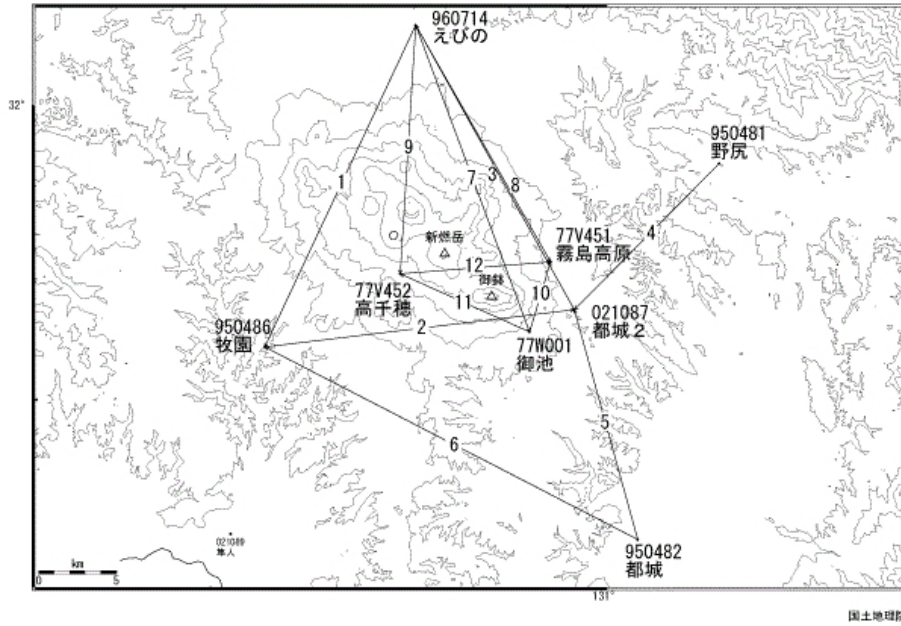
URL:http://www.gsi.go.jp

(12)この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名:飛田幹男

所属:地理地殻活動研究センター 地殻変動研究室

霧島山周辺 GPS連続観測基線図



基線変化グラフ

期間: 2009/11/01-2012/02/06 JST

